

会員各位

第18回国立市環境ネットワーク会議開催にあたって

国立市環境ネットワーク会長 末吉 正三

日頃は、国立市域の環境活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

別紙にてご案内の通り、第18回国立市環境ネットワーク会議は、通常の会員各位の活動報告とともに、以下の3つの議題があげられております。

- ・環境フェスタの振り返り
- ・地球温暖化対策実行計画（素案）
- ・環境基本計画進捗状況報告

このうち地球温暖化対策実行計画（素案）について説明させていただきますとともにお願いがございます。

すでにご説明するまでもなく、私たちの暮らしを取り巻く地球環境は、気候変動による温暖化が年々深刻の度を増し、今年1年は、世界中で猛暑、大洪水、干害、山火事などのニュースが毎日のように報じられるなど危機的な状況に直面しました。

日本でも6月頃から気温が上昇し、大雨などによる洪水が多発、猛暑日日数が観測史上最高となり11月になっても夏日が続くほどの異常続きでした。

気候変動の原因となっている地球温暖化を抑制するために2020年、日本政府は2050年を目途に、温室効果ガス排出量実質ゼロの達成を宣言し、国立市も2021年4月、「ゼロカーボンシティ」実現を宣言しました。

これは地球温暖化を解決するために、地球規模から国、そして自治体単位で対応していく新しい段階に移ったことを意味しています。

地球温暖化対策実行計画（素案）は、本年の7月から9月にわたって3回開かれた「国立市地球温暖化対策市民ワークショップ」で、無作為抽出された約30人の市民により話し合わせ、提言された意見を基にして作成されたものです。

つきましては、環境政策課から本素案についての報告後、時間を割いて意見交換をさせていただきたいと思っています。

あらかじめよろしくお願い申し上げます。

以上